

さいと

第52号

平成20年2月1日発行

市議会だより

1月5日に西都市民会館において開催された平成20年西都市成人式



●十月臨時会の概要●

平成十九年第六回臨時会は十月十二日に招集。十一月二日までの会期で、平成十八年度決算議案十一件、議員提出議案一件の審査を行いました。その結果、決算議案については不適正会計処理が行われていたため議案十一件全てを不認定としました。また、議員提出議案については可決としました。

●十二月定例会の概要●

平成十九年第七回定例会は十一月三十日に招集。十二月十八日までの会期で、市長提出議案二十七件、議員提出議案二件、請願一件、陳情三件について審査を行いました。その結果、議案についてはいずれも可決としました。請願については採択とし、陳情についてはいずれも継続審査としました。

一般質問では六名の議員が登壇し、市長の政治姿勢、教育行政、福祉行政、農業行政、企業誘致等に関する質問を行いました。

主な掲載内容

- ◎ 議案 審議結果・・・P2～3
- ◎ 一般 質問・・・P3～5
- ◎ 行政 報告・・・P5～6
- ◎ 請願・陳情の審査結果・・・P6
- ◎ 可決された意見書・・・P6

議案審議結果

第六回臨時会(十月)・第七回定例会(十二月)で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決
- ▲全会一致で不認定

条例関係

*第七回定例会(十二月)

- 西都市職員の給与に関する条例の一部改正について
(国家公務員の給与と改定の例に準ずる職員の給与と改定の例)
- 西都市常勤の特別職職員の給与の特例に関する条例及び西都市教育長の給与の特例に関する条例の一部改正について
(市長、副市長及び教育長の平成二十年一月分の給与減額の改正)
- 西都市手数料条例の一部改正について
(税手数料区分を明確化するもの)
- 西都市国民健康保険税条例の一部改正について
(国民健康保険税の徴収方法等の一部改正)

予算関係

*第七回定例会(十二月)

- 西都市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正)
- 西都市尾八重川キャンプ場の設置及び管理に関する条例の廃止について
(尾八重川キャンプ場を廃止するもの)
- 西都市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(職員給与の改定等に伴う総額六百七十四千円の増額補正)
- 平成十九年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第一号)について
(職員給与の改定等に伴う総額二百七十万円の減額補正)
- 平成十九年度西都市老人保健特別会計予算補正(第二号)について
(職員給与の改定等に伴う総額二百七十五万七千円の増額補正)
- 平成十九年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正(第二号)について
(職員給与の改定等に伴う総額五万四千円の増額補正)
- 平成十九年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第二号)について
(職員給与の改定等に伴う総額二万三千円の増額補正)
- 平成十九年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正(第二号)について
(職員給与の改定等に伴う総額百三十五万八千円の減額補正)
- 平成十九年度西都市水道事業会計予算補正(第一号)について
(職員給与の改定等に伴う総額六百四十七千円の減額補正)
- 平成十九年度西都市一般会計予算補正(第六号)について
(民生費、教育費など総額二千二百六十九万円の増額補正)
- 平成十九年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第三号)について
(保険給付費など総額七千九百四十九万九千円の増額補正)
- 平成十九年度西都市下水道事業特別会計予算補正(第三号)について
(公債費など総額三億三千三百九万円の増額補正)
- 平成十九年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第二号)について
(住宅費など総額七千五百五十三万円の減額補正)
- 平成十九年度西都市農業集落排水事業特別会計予算補正(第二号)について
(農業集落排水事業費に四十八万六千円の増額補正)
- 平成十九年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第三号)について
(保険給付費の組替補正)

決算関係

*第六回臨時会(十月)

- (企業債償還金など総額四千三百七十七万二千円の増額補正)
- 平成十九年度西都市一般会計予算補正(第七号)について
(土木費に総額千三百七十五万円の増額補正)
- 平成十八年度西都市一般会計歳入歳出決算について
(平成十八年度西都市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について)
- ▲平成十八年度西都市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について
- ▲平成十八年度西都市下水道事業特別会計歳入歳出決算について
- ▲平成十八年度西都市営住宅事業特別会計歳入歳出決算について
- ▲平成十八年度西都市老人保健特別会計歳入歳出決算について
- ▲平成十八年度西都市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について
- ▲平成十八年度西都市介護保険事業特別会計歳入歳出決算

について

▲平成十八年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について

▲平成十八年度西都児湯障害認定審査会特別会計歳入歳出決算について

▲平成十八年度西都市水道事業会計決算について

その他

*第七回定例会(十二月)

●平成二十年年度新規採択農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業東平田地区の計画概要について

(市営土地改良事業の施行認可を県知事に申請するため)

■市有財産の無償譲渡について

(保育所民営化に伴う妻保育所施設及び工作物等の無償譲渡)

●市道路線の認定について
・南方字堀内1・2号線

議員提出議案

*第六回臨時会(十月)

●本市の財政運営において適正な会計処理を求める意見書(案)の提出について

*第七回定例会(十二月)

●有害鳥獣対策の抜本強化に関する意見書(案)の提出について

●割賦販売法の改正を求める意見書(案)の提出について

一般質問

十二月七・十日に六名の議員が発壇し、市長の政治姿勢をはじめ、市政全般にわたって質問を行いました。

保育所民営化と今後の計画について

新風会 田爪淑子

問① 妻保育所においては受託予定者が九月議会で否決された。その事について保護者の反応はどうだったのか、またどのように説明されたのかお尋ねしたい。

答 十月十五日に説明会を開いたが、特に民営化に対しては前向きであったと感じた。受託予定者(NPO法人)については本議会で賛成少数の十四対三で否決され、今後同議案を上程しても困難であると考えて取り消さざるを得なかった経緯や、来年四月の民

営化を考えると既存の社会福祉法人を受託予定者として再募集、再選考する旨も説明した。

問② 十一月五日に行なわれた説明会の内容についてお尋ねしたい。

答 新たな受託希望法人と保護者との意見交換会を実施した。質問は障害を持った子どもへの対応、テレビの活用や台風・災害時の対応、食物アレルギーを持った子どもへの対応、また妻保育所を視察した感想や乳児保育園との行事はどのように考えているかとの質問があった。

問③ 穂北保育所の現状と今後の取り組みについてお尋ねしたい。

答 市長、副市長が同席して十月十八日に受託予定者決定の経緯や今後の協定書の締結について説明した。ここでも妻保育所受託予定者(NPO法人)の取り消しについての質問が多かった。意見要望は実際の保育内容について細かいことが多かった。今後は来年一月から引継ぎのための合同保育を実施し、保護者とも協議を行い、平成二十年四月一日から移行できるように努力

していく。

問④ 残り七保育所の計画についてお尋ねしたい。

答 再編計画については、今後の児童数の状況等を踏まえて民営化、統廃合の検討対象として結論を出して行きたい。

問⑤ 計画には市民の意見を反映していただけるかお尋ねしたい。

答 情報公開や情報提供を行い広く市民の意見を求めたい。

西都市工業団地構想について

新風会 中武邦美

問① 西都市工業団地構想については、平成十九年十月十二日開会の臨時議会において工業団地開発推進費として百五十四万円を増額補正すると提案がなされ、多くの議員から、施策運営の基本となる総合計画に明記されていないので、地方自治法に抵触する等の反対意見が出され、その結果市長は、「性急した面もある」と陳謝されると同時に、議案を撤回された。また今後の計画については、総合計画の一部見直しを行うと発言されているが、計画見直しをい

つ頃までにされるのか、お尋ねしたい。また新たに土地開発公社を設立される考えがあるのか、お尋ねしたい。

答 現在総合計画の見直し作業を行っており、年内を目的に取りまとめめ、総合計画等審議会にお諮りし、パブリックコメントを実施し、三月定例市議会に提案したい。土地開発公社の設立については、廃止をした経緯から、新たな土地開発公社の設立は考えていない。

問② 風力発電計画について東米良の樋口山を中心としたエリアに二千キロワットの風力発電機を二十基建設しようとする計画が進められているが、この計画に対して、率直な意見を伺いたい。

答 この計画については、現在、風況調査を実施されていると聞いている。この計画が具体化すれば、環境への影響等も検討が必要と考えている。また地域産業の活性化や税収増にもつながることであればありたいと考えている。

問③ 東米良診療所の関連施設建設の進捗状況について伺いたい。

答 高齢者向け賃貸住宅につ

いは、診療所の水道設備から水を引くと、処分行為に当たるとのことである。宮崎財務事務所にお問い合わせところ承認はむずかしいとのことであり、水の問題で進展していない。



山村医療を支える東米良診療所

西都原台地と清水台地を結ぶ構想について

市民の会 中野 勝

問① この件については平成十七年の定例会で質問した経緯がある。「西都原運動公園と清水台公園を結ぶ道路は重要連絡道路と位置づけている」と答弁された。その後、両台地を結ぶ道路改良整備の進捗状況について伺いたい。

答 県道西都原古墳山路線整

備計画のバイパス案が本年八月に不採択になった事により、新道建設に向けて実施検討しているところである。

問② 現市道と新道の併用したルートを伺いたい。

答 現市道の西都原総合台線も考慮し最短で利便性や効率的なルートを検討していく。

問③ 試算での総工事費はどれ位かかるのか伺いたい。

答 両台地を結ぶ工事であり四億円前後と見込んでいる。

問④ 工事が完了するまでの見通しについて伺いたい。

答 スムーズに行けば四年、五年後には完成する予定である。

問⑤ 市内小・中学校の運動会開催時期について伺いたい。

答 各学校で年間の教育計画の中で、児童生徒の健康安全に特に留意した上で、現在実施しているところである。

問⑥ 低学年の児童生徒は、体力的にも抵抗力がないため残暑が厳しい九月期の運動会は問題があると思うが、教育長の見解を伺いたい。

答 心身共に発達段階であり危険性を十分認識し開催時期を問わず健康・安全に十分な配慮が必要と思っている。

問⑦ 県教育委員会より予防対策として水分補給やこまめに休息を取るような通達がある。各校長の意見と教育長の見解を伺いたい。

答 運動会は学校行事の一環として児童生徒の健康・安全に留意し、学校の創意工夫を生かした教育活動として実施されている。

情報化の推進、企業誘致、入札制度について

政友会 黒木吉彦

問① ITを活用した行政サービスの充実をどのように取り組むか伺いたい。

答 住民基本台帳・税情報など既に導入しているシステムの見直し、文書管理システムや電子決裁システムなどの新たなシステム導入による行政運営の効率化・高度化へ取り組みをしていく。

問② 電子市役所の実現について現在までの経過と今後の予定について伺いたい。

答 電子申請は、電子自治体構築を目指す協議会で協議が整わず取組みが進んでいないが平成二十二年度までの整備目標が示されているので、検

討していく。電子入札については、平成二十一年度からの県との共同運用に向けて協議を行っており、実現に向けて取組みをすすめる。

問③ 山間部のブロードバンド事業はどのようにお考えか伺いたい。

答 国、県の方針で平成二十二年までブロードバンド未整備地区の解消が掲げられているので、県と協議しながら検討する。

問④ 市のホームページへ西都原のライブ映像導入について伺いたい。

答 費用や景観上の問題があり、難しいと考えている。

問⑤ 企業誘致の取組みについて伺いたい。

答 年々人口減少傾向にあり少子高齢化が進んでいる現状なので、企業誘致を積極的に推進し、大規模工場等の誘致が可能な工業団地を確保して企業誘致を進めていきたいと考えている。

問⑥ 地元建設業者の入札制度と物品調達の一括入札について伺いたい。

答 公共工事の入札は、透明性、競争性を高めるため条件付一般競争入札を実施しなが

ら地元業者の育成や受注機会を確保するよう指名競争入札を継続していく。また、物品調達の一元化についても、物品の購入は市内業者で対応できるものは、出来る限り地元優先で取り扱うようにする。

農業行政、過疎対策、行財政改革について

政友会 北岡四郎

問① J A西都が畜産センターの建設を決定されたが、耕畜連携の面からも支援を行う必要があると思うが、どのように対応されるのか伺いたい。

答 農業は本市の基幹産業であり重要と考えるので、建設費の一部助成等の支援を行っていく。

問② 低コスト農業経営について、経費節減や機械の有効利用の面から田植え機、コンバイン等のレンタル事業を政策誘導すべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

答 原油高騰の問題等、大変厳しいものがある。コスト低減に努めてまいりたい。

問③ 重油を使わない作物の産地作りについて伺いたい。

答 農業改良普及センター、

イアンス（法令順守）の意識が希薄であること、また、未だに残る予算消化主義、予算編成及び執行の問題など、多数のご指摘をいただきました。今後は、調査委員会の再発防止策の提言を真摯に受け止め、損なわれた市民の信頼を一日でも早く取り戻せるよう職員が一丸となって再発防止策の具現化に取り組んでまいります。

具体的には、副市長を中心に
 においた関係課等からなる対策委員会を立ち上げ、コンプライアンス（法令順守）や公務員倫理の認識を深めることを目的とした研修の実施、納品先を一本化することによるチェック体制の整備、納品書を支出調書に添付させるなど、十分な対策を検討し、実施していきたくと考えております。また、今回の責任を明確にするため、市長の給与二十％、副市長、教育長の給与十％を一ヶ月間減額するとともに、関係職員への文書訓告を行うてまいります。

以上、ご報告申し上げます。

**請願・陳情の
 審査結**

**割賦販売法の改正を求
 める請願**

請願者 宮崎県司法書士会
 会長 長友 克吉
 審査結果 採択

**後期高齢者医療制度の
 充実を求める陳情**

請願者 宮崎県社会保障推進協議会
 会長 山田 秀一
 審査結果 継続審査

**妊婦健康診査にかかる
 公費負担の拡充を求め
 る陳情**

請願者 新日本婦人の会西都支部
 支部長 藤崎 えい子
 審査結果 継続審査

**国の通達どおり振動障
 害者を公正迅速に救済
 する意見書を求める陳
 情**

陳情者 宮崎県建設農林労働組合
 執行委員長 井園 安男
 副執行委員長 酒井 忠雄
 審査結果 継続審査

**可決された
 意見書**

**割賦販売法の改正を求
 める意見書**

**有害鳥獣対策の抜本強
 化に関する意見書**

**本市の財政運営におい
 て適正な会計処理を求
 める意見書**

西都市議会は、このたび本
 市において発覚した「預け」
 や「書き換え」による会計の
 不適正処理の問題は、市民の
 行政への信頼を著しく失墜さ
 せたものであるとの立場から
 本臨時会に提案された平成十
 八年度各会計決算の議案十件
 と九月議会に提案され継続審
 査となっていた平成十八年度
 水道事業会計決算の議案一件
 計十一件の議案については全
 会一致をもって「不認定」と
 いう結論を出すに至った。

この間、当局においては、
 監査委員及び税理士からなる
 「西都市不適正会計処理委員
 会」を設置し、①当初発覚し
 た四課の検証、②全課を対象
 にした再調査、③取引業者の
 調査、④再発防止策の提言の
 四点について調査・検討が行
 われたが、その結果、平成十
 四年度以降五年間で、「預け」
 という手法で百四十万五千三

百四円、「書き換え」という
 手法で千三百六十六万五千八
 百八十一円、合計で千五百七
 万千八百八十五円の不適正な会
 計処理が行われていたことが
 判明した。

「預け」による会計処理と
 は、「物品の納品が無のまま
 に物品等の代金として既に外
 部に支払われたこととして、
 金銭を業者等にプールするこ
 と」であり、「書き換え」に
 よる会計処理とは、「消耗品
 で発注を行い、備品を購入す
 るなど、支出した費目と実際
 に納品された物品が異なるも
 の」である。今回の調査で、
 このような不適正会計処理行
 為が全二十三課中十五課にお
 いて発覚したが、これは法令
 を順守すべき行政としての管
 理責任が厳しく問われるもの
 といわなければならない。

よって、本市議会は、今回
 のことを重大な教訓として受
 け止め、損なわれた市民の信
 頼を得るため、次のことに取
 り組まれることを強く求める
 ものである。

一、職員の公金に対する意識
 や、コンプライアンス（法令
 順守）を徹底すること。
 二、不適正な会計処理が行わ
 れてきた原因を明確にすると

ともに、再発防止対策を早急
 に図ること。
 三、物品等の調達に当たって
 は、各課からの要請を把握し、
 必要な財政措置を講ずること。
 四、適正な予算編成と執行管
 理を図るため、組織機構の見
 直しについて検討すること。
 以上、地方自治法第九十九
 条の規定により意見書を提出
 する。

（意見書提出先 西都市長）

- 議会報編集委員会 —
- 委員長 井上 久 昭
 - 副委員長 狩野 保 夫
 - 委員 田 爪 淑 子
 - 北 岡 四 郎
 - 内 藤 邦 弘
 - 中 野 勝 生
 - 浜 砂 松
 - 吉 野 元 近
 - 井 上 照 也



議会報編集委員会メンバー